

東京都市大学付属中学校
入学式式辞
2021年4月7日(水) 皆川勝(校長)

本日、東京都市大学付属中学校の入学式を挙げるにあたり、校長として、式辞を申し述べます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

それぞれの小学校を卒業された皆さんは、今朝、心あらたな期待に満ちて本校の門をくぐられたことと思います。中学の三年間、また高校までの六年間の中で、その後の人生の基礎づくりを行い、大きな夢をもってその実現に向かって努力のできる人に成長していただきたいと思います。

本日は、式辞として三つのことを申し上げたいと思います。一つめは、建学の精神と校訓についてです。建学の精神とは学校を作られた方々の思いや決意を表したものです。本校の建学の精神は「公正・自由・自治」です。第1の「公正」とは、正直に、そしてすべての人や事柄に公平に向き合い、正しいことを行うことです。

自治とは「自分を治める」と書きますが、「自立」つまり自分自身の力で立つ心の持ち方や、「自分を律する自律」、つまり良いことと悪いことの判断を自分で行うことができるということを表す言葉です。公正で自立心を持って社会に信頼される者になるための決意が述べられています。「自由」には、「何かに縛られない自由」と「進もうとする方向がいくつかある時に、いずれも選択することのできる力を持って選択する自由」があります。公正で、人を思いやる心を大切にして、幅広く深い知識・知恵を得ることによって、皆さんひとりひとりが夢を持ち、それぞれの夢を実現する自由を得ることが大切です。自由とは、自分の思った通り何でも勝手にできるという意味ではありません。時には、規則などで縛られることもありますが、それを不自由と考えるのではなく、「夢を実現する自由」を得るためのプロセスと考えてほしいと思います。

次に校訓ですが、校訓とは、生徒、教師、職員、保護者など、学校のすべての関係者が定められた方向を目指して進んでゆくことを象徴する教育の方針や目標です。本校の校訓は「誠実・自主・遵法・協調」です。誠実とは、自分の利益や欲を考えず、真心をもって正直に先生方や仲間の生徒たちと向き合うことです。「自主」は自分

の判断や能力で行うことですが、「自治・自立・自律」と通じる言葉と考えてよいと思います。「遵法」とは、ルールを守ることですが、単に決められたことを守ればよいということではなく、決められたルールの意味をよく理解して、自分自身で善悪の判断をして行動することです。最後の「協調」は、自分自身の考えをしっかりと持ちつつも、それを他の人に押し付けるのではなく、協力し合い、理解し合うように努力することです。だれも一人では生きてゆくことはできません。家族、友達、先生方、そのほかの周囲の人たちとともに協力して、物事にあたりましょう。これらの校訓や、建学の精神の言葉の意味について折に触れて考えながら、その実現を図るよう、生徒の皆さん、教職員の皆さんと努力をしてゆきたいと思いません。

二つ目は、中学から高校、その先へと皆さんが進まれるなかで、社会人としてぜひ持ってもらいたい基本的な能力、人間的な力の多くが、中学時代に得られるということです。知的な好奇心、本を読んでそこから大事なことを読み取る力、論理的に考える力、問題を探す力、環境に適応する力、他の人と事を進める力、コミュニケーションの力などです。これらが中学時代に最も鍛えられるといわれ

ているのです。どうか、多くの事柄に興味や関心を持って、チャレンジをしてください。チャレンジするプロセスそのものが皆さんを大きく成長させてくれます。

最後の三つ目に、「学ぶ」ということはどういうことかということについてお話をします。アメリカの政治家であったベンジャミン・フランクリンは、アメリカ建国の父と呼ばれ、現在、アメリカの100ドル紙幣の肖像となっている人です。フランクリンは、

言われたことは、忘れる。

教わったことは、覚える。

参画（参加）したことは、学ぶ。

と述べたそうです。

どうか、ただ先生から言われたからやる、教わるのを待つのではなく、自分から進んで、時々の学習事項や活動に関わってください。自分から進んで調べる、疑問はそのままにせず先生や他の仲間と議論する、そのように参加することで、その経験や知識・知恵といったものが自分の中に蓄積され、皆さんの将来にとってかけがえのない財産となります。これが「学ぶ」ということの意味です。

最後になりますが、これまで申し上げてきた事柄に共通していることは、「主体的に参加する」、「自分自身から進んで参加する」ことが重要であるということです。ぜひ、学習はもとより、クラブ活動、学校行事等に自分から進んで積極的に参加してください。本校ではこれを、「勉強も部活も百対百」というモットーとして表しています。クラブ活動が忙しくて勉強ができないなど、それぞれをできないことの言い訳にせず、失敗を恐れず、若い力とエネルギーをぶつけてください。皆さんの可能性は無限にあふれています。本校の先生方はそのために、皆さんを全力で応援してまいります。

都市大グループのグループ歌である「夢に翼を」における「翼」という言葉は、皆さんが夢を見出し、夢を実現できる力をもってほしいという思いを表現しています。皆さんお一人お一人が、夢を実現するための大きく強い翼をもって、本当の自由を得て羽ばたけるようになることを強く願っています。

最後に、保護者の皆様には、本日、お子さまが立派に成長され、めでたく中学校に入学されましたことを、校長として心からお祝い申し上げます。お子様たちの健全な育成は、学校・家庭・地域社会

に与えられた私たちの責務であると考えておりますので、今後とも
何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上をもって、入学式にあたっての校長式辞といたします。